

首都圏増田会だより

34

2019.6

やれうれし 飲めや歌えや
増田会

2019年11月17日(日)首都圏増田会
オーラムで会いましょう。

春を待つ歴史的な町並み（中七日町通り）

第33回 首都圏増田会総会・交流会



平成最後の第33回「首都圏増田会」の総会と交流会は、平成30年11月18日の第三日曜日に東上野のオーラムで開催され、会員、ご来賓、横手市からのふるさと交流者あわせて100名を超える出席者で大いににぎわいました。

総会は30分ほどで滞りなく終了し、交流会が始まり乾杯の声とともに、そこかしこで、秋田弁が飛び交います。

今年から若い会員が8名も増え、その内6名が役員としても活動してくれることとなり、役員の年齢構成も大きく若返りました。

イベントでは、横手市出身者などの23名で構成し、首都圏で活動するジャズバンド「Yokote Heroes」の演奏を楽しみました。4年前に続き2回目の出演です。

その後、秋田の地酒、いもの子汁、リンゴ、漬け物などを堪能しました。

最後に多くの賞品が当たる、BINGOゲームで大いに盛り上がりました。

なお、10月には横手市の他のふるさと会役員とともに、3日間ふるさと探訪の旅に役員が10名参加しました。

ふるさと会の幹事、雄物川地区を中心に、「木戸五郎兵衛村」「旧池田氏庭園」「西馬音内盆踊り会館」など横手市内および周辺の各地を訪ねました。

今年令和元年の「首都圏増田会」の総会と交流会は、令和元年11月17日の第三日曜日に開催されます。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

(幹事長 越後 記)

「第33回首都圏増田会に参加して」

横手市まちづくり推進部

増田地域局長 **阿部 隆雄**【鍋ヶ沢出身】



昭和61年11月に首都圏増田会が親睦と融和・愛郷と連帯を旗印に発足してから細野会長様はじめ歴代の会長、会員の皆様のご尽力により33回を数えることになりました。

また、首都圏増田会の皆様におかれましては、ふるさとへの熱い想いのなか、横手市増田地域のため多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当日の上野「オーラム」の交流会におきましては、会長様はじめ増田会の役員、会員の皆様、そして新たに参加された若い会員の皆様、さらには高橋大市長、市内のふるさと会の皆様など多くのご来賓をお迎えし、横手ヒーローズの演奏や恒例のビンゴゲームなどで盛り上がり、楽しい時間を過ごさせていただきました。本会の開催にあたり準備いただきました役員の皆様に厚く感謝申し上げます。

私は、平成30年度より増田地域局長の辞令を受け、平成最後の今回より増田会に参加させていただきました。皆様にお会いする前に、地元におりますと上京する機会も少なく、普段から染み付いた増田なまり（方言）をださないように話せるのか、不安な気持ちでございました。本来でありますと、皆様とお会いし、積極的にふるさと増田や市の近況などをお話ししながら交流、おもてなしするものと思っておりました。

総会当日は、そんな不安な気持ちを皆様からの「増田の言葉、聞きに来たのだから、むしろ普段の言葉で話してください。」の言葉に「んだんしがあ〜。」と言いながら、一気に気持ちが和み、皆様の温かい気持ちに、今も感謝しております。限られた時間内での交流でございましたので、参加された全ての皆様とお話することは叶いませんでしたが、次に参加する機会には「地元の言葉」を気にせず、できるだけ多くの方とお話しできればと思っております。

増田地域局管内では、増田、亀田、西成瀬、狙半内の各地区交流センターの活動が行われており、2月には狙半内地区交流センターの地域住民による手作りイベントとして「元祖さるはんない 幻灯」が道路の雪壁を利用して開催されるなど、それぞれの地域の特色を活かした地域づくりに取り組んでおります。また、増田町新町にあります「増田ふれあいプラザ」が大規模改修工事によりまして、文化意識の醸成、マンガ文化の振興並びにマンガ原画の保存継承などを目的に、収蔵作家数 日本一の「横手市増田 まんが美術館」として5月1日にリニューアルオープンを迎えましたので、秋田におこしの際には、是非お立ち寄りいただければと思います。

今後も、皆様をはじめ諸先輩が築かれてきましたふるさとを活かすため取り組んでまいりますので、首都圏増田会の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援とご指導を賜りますことをお願い申し上げますとともに、増田会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

民俗芸能フェスティバル



11月25日、増田地区交流センター主催の「増田民俗芸能フェスティバル」が増田体育館で行われました。増田地区4団体のほか、十文字、にかほ市、八郎潟町から各1団体の計7団体が、それぞれに特色のある芸能を披露しました。観客は熱のこもった演技などを真剣に観ていました。

冬のメルヘンロード



2月9～10日、「第15回 元祖さるはんない幻灯」が行われ、市内外から多くの観光客が訪れました。狙半内地区約10kmの道路の雪壁に約3千本のろうそくが灯され、幻想的な世界を演出しました。各集落の振る舞いも好評で、リピーターの姿も多くありました。

今後も地域住民一体となり狙半内地域を盛り上げていくことを期待します。



梵天

道路には飛び出しません



10月10日、平鹿自動車学校で交通安全教室を開催しました。これは、まずだ保育園交通安全母の会が主催し、新年度から小学生になる年長児を対象に交通ルールなどを学んでもらいたいと企画したものです。園児たちは、交通ルールを学び、実際に横断歩道を渡る練習などを行い、道路には絶対に飛び出せませんと約束しました。

スポーツで健康に



10月8日、増田地域スポーツのつどいが開催され、多くの住民が運動に汗を流しました。卓球やウォーキングなど全8種目のうちから自分の好きな運動を行いました。約5kmを歩くウォーキングでは、秋晴れのもと会話をしながら楽しく歩いていました。健康に過ごすためにも普段から適度な運動を行いましょう。



増田の花火

日大研究報告



9月13日、日本大学理工学部海洋建築工学科の生徒たちによる研究発表会が多目的研修センターで行われました。生徒たちは1週間増田に滞在して増田の町並みについて研究した成果を、地元住民に聞いていただきました。「朝市通りからまんが美術館まで道を作る」「各蔵をはだして歩ける廊下でつなぐ」など様々な観点から報告がなされました。地元住民からは、「どの研究も素晴らしいが、増田は豪雪地帯なので今度は冬に来て研究してもらいたい」などの意見もありました。学生たちは増田での貴重な経験を今後活かしてほしいです。

インドネシア大使来町



10月22日、アリフィン・タスリフ駐日インドネシア特命全権大使が横手市を訪問しました。増田地域では、まずだ保育園の年長児が歓迎するため盛大に出迎えました。大使は子ども達の出迎えに笑顔で握手をしました。



たらいこぎ

増田町の出来事

～ 平成30年度に行われた主な行事を紹介 ～

強く生きること



6月30日、増田中学校PTA企画の「夢講座」が増田中学校で開催され、盲目のシンガーソングライターの板橋かずゆき氏が講演を行いました。板橋氏は、幼いころから視力が弱く、徐々に視力を失いました。その様な中、友人の誘いでバンド活動を始め、現在シンガーソングライターとして活躍している方です。

大好きな野球をすることが出来ず、当然甲子園を目指すことが出来ませんでした。自分の作った曲が、ある高校の応援歌として甲子園で使用され、違う形ですが甲子園に出場という夢が叶いました。

人生において、様々な苦難に直面すると思いますが、あきらめない心を持ち強く生きることに参加した児童・生徒に伝わったのではないのでしょうか。

伝統 増田の盆踊り



8月15日、中七日町通りなどで増田の盆踊りが行われ、地域住民や帰省客などが参加しました。増田音頭や増田小唄に合わせて優雅な踊りが披露され、華やかな町並みになりました。

安齋肇の世界展



4月22日～6月24日、「旬菜みそ茶屋くらを」を会場に「安齋肇の世界展」が開催されました。安齋さんは、イラストレーターやアートディレクターなど幅広い分野で活躍している方です。多彩な才能と作品の世界を体感できる展示会となりました。4月22日には、オープニングイベントとして、テーブルカットが行われたほか、安齋さんとみうらじゅんさん（漫画家、イラストレーター）によるトークライブが行われ、笑いの絶えない楽しい時間となりました。

元気に育ってね



7月17日、まずだ保育園の年長児27人が、狙半内川に2,800匹のイワナの稚魚を放流しました。これは、成瀬川漁業協同組合が主催し、毎年稚魚を提供しているものです。子どもたちは、「大きくなれ」と願いを込めて放流しました。放流後、元気に川遊びを楽しみました。

石に親しむ ストーンフェア



4月8日、横手市石材組合主催の「ストーンフェア」が、まちの駅・福蔵で開催されました。たらいこぎをしているカップやエレキギターなどの石の彫刻や置物が披露されました。また、御影石に動物の彫刻を掘る無料体験も行われ、来場者は出来の良い仕上がりに満足していました。

増高、増小農業体験交流学習



4月23日、増田高校で、増田小5年生の子ども達が、あきたこまちの種まき体験を行いました。増田高校農業科学科3年生の生徒に教えてもらいながら、手作業で丁寧に種をまきました。

これは、子ども達に稲作を実際に体験しながら農産物の生命の尊さを学んでもらい、また、地域の方々との異世代交流を行い「食」と「農」の大切さを感じてもらうことを目的に毎年行われています。

「ひと粒の種から、ごはんになるまで」をテーマに、「種まき、田植え」「生育調査」「稲刈り」を経て「育てたお米を食べよう！」までの全6回の内容で行いました。



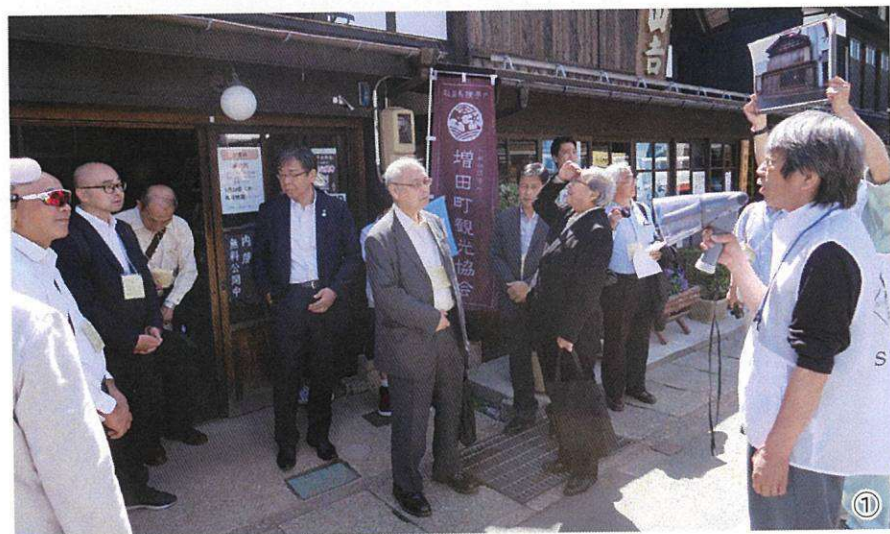
4月20日、リニューアルオープン記念式典が漫画家の先生方や国県関係者、地元住民など多くの方の参加で行われました。

写真

- ①「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」プレートを受け取る矢口高雄名誉館長
- ②テープカット
- ③里中満智子先生の壁面作品除幕式（左から2人目が里中先生）



全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会 横手大会



- ① 建物の構造などの説明を真剣に聞く参加者たち
- ② 地元の名産と笑顔でもてなしをする

五月二十二〜二十四日の三日間、横手市を会場に第四十一回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会が行われ、当市も含め全国三十七道府県六十七市町村八十三地区から二百九十人を超える方々に参加いただきました。これは、全国の重伝建地区が持ち回りで毎年開催しているもので、秋田県での開催は角館で開催した昭和五十五年以来三十九年ぶりです。

増田地域では、十班に分かれて重伝建地区を視察した後、分科会を行い重伝建地区の現状や今後の課題などを話し合いました。夜は、増田体育館で交流会が行われ、日の丸のお酒や山菜など地元の料理を堪能していただきました。



横手市増田まんが美術館に 来てたんせ!



写真

- ①直筆原画が鑑賞できる「常設展示室」
- ②デジタル化した原画を堪能できる「マンガの蔵」
- ③遊び心満載の「マンガカフェ」
- ④マンガ読み放題の「マンガライブラリー」
- ⑤ミュージアムショップ



【開館時間】 10:00~18:00 (入館は17:30まで)
 【休館日】 第3火曜日(祝日の場合は翌日)
 【入場料】 無料(特別企画展は有料)
 TEL: 0182-45-5569
 URL: manga-museum.com

お願いー連絡ー

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金が大幅に削減されてしまいました。つきましては、増田会としてやむをえず次のようにしました。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止することにしました。ただし、総会への参加は構いませんので、一人でも多くの方々の参加を期待しています。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

平成30年度首都圏増田会収支報告

平成30年11月18日現在

首都圏増田会の平成30年度の収支決算がまとまりました。内容は下記のとおりです。

【収入の部】 ※「比較」欄は予算との比較

項 目	金額(円)	比 較	備 考
会 費	315,350	▲34,650	2,000円/年(手数料差引後)
総 会 会 費	606,000	▲114,000	
補 助 金	270,000	0	横手市より
繰 越 金	608,770	0	
預 金 利 子	4	▲46	
諸 収 入	449,000	149,000	ご祝儀(360,000円) 広告収入
収 入 合 計	2,249,124	304	

【支出の部】

項 目	金額(円)	比 較	備 考
総 会 費	1,223,722	23,722	会場費、宴会費用他
会 議 費	151,659	▲48,341	役員会・3回
渉 外 費	127,000	▲73,000	横手市ふるさと会連絡協議会 ほか
慶 弔 費	0	▲30,000	
広 告 費	62,850	▲17,150	増田の花火協賛金 50,000円 役員会刺代 6人
通 信 費	55,600	▲44,400	増田会だより印刷代ほか
事業部活動費	10,000	▲40,000	役員研修会・探訪ツアー助成金 増田会だより(広報部)
手 数 料	4,752	252	送金手数料
事 務 費	10,224	▲9,776	事務消耗品ほか 役員会案内切手・はがき代
総会準備費	0	▲300,000	
予 備 費	0	▲64,320	
支 出 合 計	1,645,807	▲603,013	

収支差引残金 603,317円は翌年度へ繰越

平成30年11月18日 首都圏増田会 会長 細野 芳之助

第34回首都圏増田会総会

■期日 11月17日(日)午前11:30～

■場所 オーラム(昨年と同じ場所です)

住所 東京都台東区東上野1-26-2

電話 03-5812-1123

会費 8,000円

※参加者全員が着席できるように準備しています。

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

「増田会だより」の表紙に載せる写真を募集しています。増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、是非写真の提供をお願いします。

■提出先：幹事長 越後 英雄

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨を記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、最近会費の納入が遅れたり、未納となる会員の方が出ています。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いします。なお、未納の方には次回より案内状・たより等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は、横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先：秋田県横手市増田町増田字土肥館
173番地／電話0182-45-5510

◆会 費 年額2,000円

◆納入期限 令和元年10月10日

※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。